

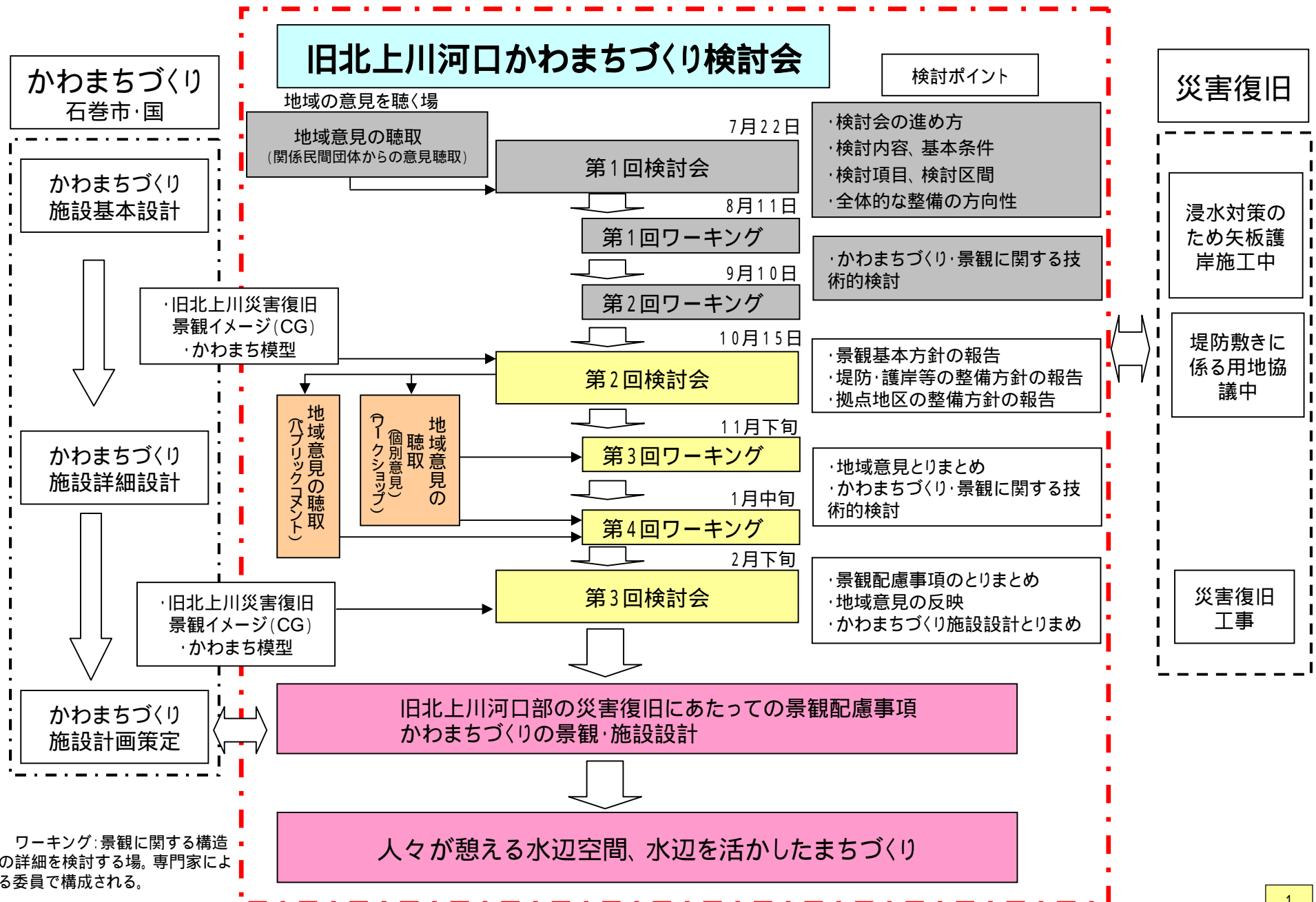
旧北上川河口かわまちづくり検討会資料

第1回検討会 議事要旨

平成25年10月15日

東北地方整備局 北上川下流河川事務所
石 巻 市

1.これまでの検討の流れ



2. 第1回検討会での主な意見

検討会での主な意見	対応方針と検討状況
<p>【全体】</p> <p>作ろうとしているのは、非常に大きな地形と認識。未来を見据え、<u>地形レベルで整備に組入れるものと、使い方で対応していくものがある。</u></p> <p>ゾーニング案について、各ゾーニングの中にも小さなゾーニングがあるだろうし、特異点もあるだろうから、それらを踏まえた検討が必要。</p> <p><u>ステップ高1.7mについては、高いという印象がある。洪水水位、潮位を踏まえワーキングでさらに検討が必要。</u></p> <p>井内石が化粧パネルのような使い方をしており、<u>石は石らしい使い方をしないといけない。</u>そのためには、もともとの使い方を知らなければならない。</p> <p>花火大会で人が集まる空間整備、灯籠流しが出来る<u>親水性が確保された箇所が必要。</u></p> <p>ステップ幅が広いところに木を植えられるか確認が必要。</p>	<p>検討会・ワーキングでのご指導を踏まえ検討します。</p> <p>拠点となる箇所を抽出し、場所に応じた空間整備の検討を実施しています(今回報告)。 また、全体区間の中での詳細な区間割を行って、各区間ごとの整備方法を今後検討していきます。 ワーキングでの意見と踏まえ、ステップ高を下げる方向で検討しています(今回報告)。</p> <p>井内石の利用の仕方については、利用場所等も含めた詳細について、今後検討していきます。</p> <p>具体的な場所については、 の区間割等を踏まえ、市と調整を図りながら検討します。</p> <p>植栽は可能であり、具体の箇所や方法等については、 の区間割等を踏まえ、今後検討を進めます。</p>

<p>【中央地区】</p> <p>舟のない石巻の景観は考えられないという意見があり、景観検討を進める上で中央地区にふねを置くか否か検討する必要がある。</p> <p>新内海橋、西・東内海橋のトータルデザインを検討する必要がある。</p> <p>港湾区域は、張り芝でなく、石積みの方がよいという意見、張り芝の方が柔らかいという意見あり。</p>	<p>一時的な係留は可能、利用する船を想定した検討をします。</p> <p>ワーキングでの意見を踏まえ、新内海橋等の検討状況について、今回報告します。</p> <p>ご意見を踏まえた整備の方向性について、今回報告します。</p>
<p>【南浜】</p> <p>日和山より見たときに堤防の軸線にズレがあり、不格好。</p>	<p>ワーキングでの意見を踏まえ、日和大橋周辺の堤防法線の見直しを検討しています(今回報告)。また、右岸南浜地区については、現在復興祈念公園構想が進められており、その計画と整合を図りながら対応を検討します。</p>
<p>【左岸 湊、川口】</p> <p>一部植物が繁茂するような整備も可能。</p> <p>昔、護岸が整備されると同時に「かわど」というかわにおりる石造りの階段が整備された。</p>	<p>植物等が繁茂出来る環境作りは可能です。</p> <p>かわどについては、具体の設置箇所等について、詳細な区間割等を踏まえ、市と調整を図りながら検討します。</p>
<p>【稲井】</p> <p>稲井地区では、河川が湾曲しているなどの地形特性を踏まえ、他の箇所と同じ構造の堤防でなく、川側の法を急勾配にしても良いのでないか</p>	<p>ワーキングでの意見を踏まえ、矢板を打設せずに、擁壁等で川側の法面勾配を急にする案等を検討しています(今回報告)。</p>